

# 海の向こうから

元号が平成から令和に代わり、今年もたくさんの隊員が広島県から世界各国へ出発しました。今回は海の向こうの現地隊員から2通お便りが届いています。国内の活動報告も満載です。まずは現地隊員の活動レポートです！

01

## グアテマラ発！現地隊員レポート！



### ¡Hola! ¿Cómo está?

こんにちは、現在グアテマラ共和国で野球隊員として活動しています、2017年度3次隊、細間翔と申します。今回は、私の大好きなグアテマラとここに住む野球少年達との活動紹介をしたいと思います。

### 任国グアテマラについて

グアテマラ共和国は中米北部に位置し、国民の過半数はマヤ系の先住民で現在も多くのマヤ文化が残っている国です。日本ではグアテマラ産のコーヒーでも有名です。その他にも世界一美しい湖と言われる、アティトラン湖や映画スターウォーズにも登場したティカル遺跡が有名です。そしてグアテマラの人々は中南米の他の国の人々と比べると、大人しく、少しシャイでどちらかというと日本人よりな印象です。

### 活動について

私はグアテマラスポーツ自治省管轄の野球連盟に配属され、国内西部に位置するケツアルテナンゴ県で県野球協会



の指導者たちと共に野球の競技人口拡大のための普及活動と子ども達の技術力向上、また指導者の指導レベルの向上のサポートをしています。しかしグアテマラ国内では野球はまだマイナースポーツで国技であるサッカーに比べると遥かに人気は劣ります。それでも私の任地の子供達はとても楽しそうに毎日白球を追いかけています。子供達には日本の野球は有名で、よく『オオタニサン!』『タナカ、マエダ』と日本人メジャーリーガーの名前を聞きます。

私自身日本で学んできた野球をグアテマラの子供達に少しでも伝えていきたいと思っています。例えば、技術だけでなく野球を学ぶうえで非常に重要な規律の面もきちんと残していきたいのです。周りの人に感謝する気持ち。道具を大切に扱うこと。挨拶をすることや時間を守ること。まずは人としての基本を継続して伝えていきます。まだまだ青少年犯罪が多いこの国で、少しでも多くの子供達に野球という素晴らしいスポーツを通してたくさんの事を経験してもらい、銃や手榴弾、麻薬を手にするのではなく、ボールやバットを使い仲間と笑顔で野球をする子供達が増える事を願います。いつの日かグアテマラ出身の選手がカープのユニフォームを着てプレーする日が待ち遠しいです。

(活動レポート：2017年度3次隊 グアテマラ・野球 細間 翔)

## 02

## モンゴル発！現地隊員レポート！

2018年度1次隊、小学校教育で派遣されております、山田英恵（はなえ）と申します。今回は、モンゴルでの活動についてドドッ！と紹介します。



## モンゴルについて

首都：ウランバートル / 面積：約156万4100km<sup>2</sup>（日本の4倍の大きさです）人口：約318万人  
人口密度：1km<sup>2</sup>当たり2人。東京ディズニーランドにたった一人いるくらい、人口密度が低い国です。

## 任地について

私は首都ウランバートルから北へ車で約4時間のダルハンオール県第1学校で活動しています。小学生から高校生までの子ども達860名でその内、小学生は421名です。

## 主な活動

図工と算数の授業を現地の先生方と一緒にしています。特に算数の授業では授業方法と学力に課題があります。授業は教え込みの暗記で、先生が答えまですべて説明し、児童はそれをノートに写して終わりなんて日もあります。理解しないまま新しい単元になり、勉強が苦手な児童はどんどん落ちこぼれています。

そのため、児童主体の授業になるよう担任の先生と指導方法を考えTT（チームティーチング）で授業を行っています。授業をしていて、児童の「分かった！」の声と笑顔がたまらなく嬉しいです。勉強が苦手な児童にも分かったと思える時間が増えるようこれからもモンゴルの先生と共に奮闘していきたいです。

## 原爆についての授業

小中高生を対象に世界で初めて原爆が落とされた広島についての授業を行い、「戦争・平和」とはどのようなものかを考えてもらいました。対象者は、小学生4・5年生145名、中学生127名です。

## 日本文化紹介

私の配属先から車で1時間の所にあるセレンゲという町で、日本文化紹介を他の隊員と一緒に行いました。今回は広島県民が大好きな広島風お好み焼きを限定100食で振舞いました！さて、モンゴルの方の反応は？

結果、日本文化紹介には150名ほどのモンゴルの大人や子どもが参加してくれました。「広島風お好み焼きの味は？」と尋ねると、みなさん口をそろえて「おいしい！」言ってくれました。食材が幾層にもなっていて、珍しそうにしていました。広島県民の味がモンゴルの方にも好評で、大満足です。

（活動レポート：2018年度1次隊 モンゴル・小学校教育

山田 英恵）



訓練所～任国派遣前の想いを形にするためにアンケートを取りました。隊員のみなさん！任国の生活や活動で慣れた頃に、たまに見返すと初心を思い出せますよ。

## アンケート内容

①名前 ②隊次/派遣国 ③職種 ④応募したきっかけ ⑤訓練所での辛かった思い出 ⑥訓練所での楽しかった思い出 ⑦2年間の活動中に挑戦したいことは？ ⑧出国を前に控えた今の心境は？ ⑨これから2年間の活動に向けての意気込みを一言



①木村 牧絵 ②2018-3/ネパール ③看護師  
④父のように海外で生活をしたいこと。元隊員が友人にとっても多く影響があり、行くタイミングは今だと直感的に思い応募しました ⑤語学、語学テスト ⑥色々な職種や人に会えたこと ⑦登山と現地の楽器を弾けるようになりたい ⑧初めてのネパールなので緊張しています ⑨健康第一で、無理せず楽しく過ごします



①上村 潤史 ②2018-3/ソロモン ③水泳  
④環境がまだ整っていない場で力になりたいと思ったから ⑤ありません ⑥様々な職種の人と共に生活して話を聞いたこと ⑦東京オリンピック出場者輩出 ⑧楽しみ ⑨今までの経験を生かして活動し、たくさんの事を吸収して帰りたいと思います



①橋本 良 ②2018-4/ネパール ③行政サービス  
④発展途上国を旅行する事が好きで、自身の経験を途上国の発展に還元させたい。自身の見聞を広げたいと考えたからです ⑤スケジュールや課業での拘束(休日が日曜しかなかったこと) ⑥語学授業。たくさんの仲間ができたこと。自分の人生で忘れることができない 70 日間になったと思います ⑦ネパールの楽器をマスターすること。ヨガ ⑧訓練を共にした仲間との別れは淋しいですが、また新たな出会いがあるという楽しみもあります ⑨ネパールの文化を理解し、自分の第二の故郷とするつもりで共生したいです



①樽澤 英治 ②2018-4/アルゼンチン ③再生可能省エネルギー ④地球規模の環境保全、資源エネルギー対策 ⑤⑥訓練免除です ⑦独話仏話 ⑧油断大敵 ⑨健康第一



①中藪 恭子 ②2019-1/ペルー ③マーケティング  
④学生時代に訪れたペルーにいつか力になる人間になって帰ってきたいと思っていたため ⑤語学テストの前は、毎日遅くまで勉強して、それでも自分の身になっているかわからず辛かったです ⑥仲間と過ごした日々です。大人数での共同生活で人間同士の合う合わないはあるのですが、その中でつうじあえたときは、とても嬉しかったです ⑦とにかく色々な方と話したいです ⑧早く行きたいです！スペイン語が、ぬけてしまう ⑨私なりにがんばります！知ることは、世界平和!!



①谷 俊洋 ②2019-1/ブラジル ③作業療法士  
④海外で働きたかった。途上国で活動したかったからです ⑤一番最初、色々な素敵な人と出会い、劣等感につぶされそうでした ⑥色々な人と出会いみんなの良いところを知ったこと ⑦ブラジル文化に触れたい。料理や踊りを身に付けたい ⑧楽しみ8割不安2割です ⑨受け入れて頂くことに感謝し、自分に出来る事を一生懸命行いたい。帰ってからも、日本で必要とされる人になるべく努力します



①副島 健史 ②2019-1/タンザニア ③コミュニティ開発  
④海外でバックパッカーとして旅をした経験が、自分を変えてくれたので、現地で2年間活動する体験が自分をきっと成長させてくれると思いました ⑤集団生活を行ったことがなかった為、最初の10日間は、辛かったです ⑥生活班で、二本松の魅力を発信するというフィールドワークを行ったこと ⑦原爆展をニーズがあれば、行きたいと思います ⑧楽しみが8割不安が2割というところですが、特別な技術等を持たない為、何ができるのかを考えていきたいと思っています ⑨何も出来ない期間が長いと思いますが、焦らずじっくりと活動していきたいと思っています



### 会報誌発送作業 (2018.12.08)

会報誌の発送作業を行いました。  
2018年度は800部印刷。みなさん届いてますか？



### 2018年度3次隊 県庁表敬・走行会 (2018.12.18)

2名の隊員を合わせ、合計10名の方に参加いただきました。  
新隊のみなさんのアンケートは4ページに。



### まつながカープヂェー (2019.02.03)

福山市松永町に12名が集合。  
グリーンカレーを販売し、体験談の発表も行いました。



### 家族連絡会・総会・協力隊ナビ (2019.02.09)

留守家族の方々を招き、ボランティア事業や支援体制などを説明。4人のパネルトーク。参加者は合計50名。



### 2018年度4次隊 県庁表敬・走行会 (2019.03.20)

2名の隊員を合わせ、合計15名の方に参加いただきました。  
新隊のみなさんのアンケートは、4ページ。



### 2019年度1次隊 県庁表敬・走行会 (2019.07.05)

3名の隊員を合わせ、合計14名の方に参加いただきました。  
新隊のみなさんのアンケートは4ページへ。



**中国ブロック交流会・山口 (2019.09.14-15)**

秋吉台に50名以上が集合。日中のアクティビティーに加え、バーベキューや活動報告を行い親交を深めました。



**ふくやま子どもフェスティバル2019 (2019.11.03)**

福山市に9名が集合。パネル展やアフリカ文化・SDGsを紹介。コートジボワール大使夫人も参加。



**国際フェスタ2019・協力隊ナビ (2019.11.17)**

屋台・地球ひろばで海外を身近に感じてもらいました。広島県OB会は初回から全20回連続参加で表彰。



**2019年度2次隊 県庁表敬・走行会 (2019.11.28)**

10名の隊員を合わせ合計22名の方に参加いただきました。

## 今後の予定

**2020.02.02 まつながカープチェー :**

今年も松永で開催します。

**2020.02.16 家族連絡会・総会 :**

同封のハガキを返信の上、出席ください。

**2020.03 下旬 2019年度3次隊 県庁表敬・走行会**

**2020.09.12-13 中国ブロック交流会 (日程の本決定は4月以降) :**

今回の担当は広島県です。50~100名程度の参加あり!?

場所は「せらにし青少年旅行村」予定。他県OVとの貴重な時間!

思いがけず懐かしい顔に会えるかも!? 全力で楽しみましょう。





毎年開催されるこのフェスティバルは、福山市内の様々な団体が参加し、毎年2万人以上の来場者で賑わいます。OB会は、国際教育・多文化共生のブースを UNICEF 広島と共に繰り広げ、市民や隊員同士の交流を深めました。当日は、市内だけでなく、広島市や三原市などから駆けつけてくれた OB10 名と中高生ボランティア 13 名が、JICA 広島県デスクのご協力のもと、パネルの展示やたくさんのコンテンツを紹介し、皆さまに喜んで頂きました。テーマは、TICAD7 にちなみ「人と人がつながることで「アフリカ」が近くなる楽しさをお届けする。」とし、コーナーを組み立てました。アフリカを体験しようのコーナーでは、楽器やゲーム、民族衣装、SDGs カード作成、アフリカ布を使ったくみボタンのワークショップなどで身近に感じていただきました。「ぶち」青年海外協力隊になろう！のコーナーでは、OB の指導により、赤ちゃんの抱っこ、かっこいい姿勢の作り方、歯みがきの仕方などを来場者に体験してもらい大変好評を得ました。そして、帰国隊員の活動紹介では、来場した学校関係者より、キャリア教育の中で生徒に紹介していきたいとの意見も伺いました。

コートジボワール大使館より、Solange P.WEYA(ソランジュ・ウェヤ)大使夫人が急遽参加！元青年海外協力隊員としての活動にこだわり、任国と繋がりながら国際教育に関わりたいと考え、昨年より何ができるのか模索していました。そこで、コートジボワール助産師会とコラボ企画の準備を始め、コートジボワール大使館へ協力の依頼をしたのは、今年の4月でした。助産師からのメッセージ「この世界で一番最初に出逢う助産師は、あなたの素晴らしさを知っています。いつもあなたの健康と幸せを願っています。」を子どもたちに届けたいとの提案に「まあ！素敵！私も一緒に参加したい！」と、共感して下さったのが、大使夫人です。その後、JICA コートジボワール事務所のご協力をいただけることとなり、協力プログラム《妊産婦・新生児継続ケア改善プロジェクト》（2019 から5年計画）における専門家（協力隊 OB）の活動報告を通じ、子どもたちがアフリカと交流できる企画にしていければと進めてきました。プロジェクトは、8月に専門家が到着し、始動したばかりの状況です。引き続き、今後の展開を報告していきたいと考えています。当初、大使夫人からは、大使の外交に付き添われる予定があり来られないとのご連絡をいただいていたのですが、福山の子もたちや世界の各地で活躍した JOCV に会いたいと、急遽参加が決まりました。穏やかで、あたたかな聡明さで、子供たちと心から触れ合いを楽しまれました。言葉が通じない場



面では、OBのさりげないサポートをもらいながら交流する場面もありました。アフリカ人に初めて会った子供たちは、大使夫人のお人柄に親しみを覚えたようです。フェスティバル終了後は、帰路の新幹線発車時刻まで、OBと一緒にばら公園や福山城公園散策を楽しめました。皆さまの優しさにふれ、今回は、大使と共に来ますと話されています。

福山ばら祭2020、5月16(土)17(日)日の国際ひろば(花園公園)への出展の要望を頂きました。今年のテーマは「世界へ!未来へ!届けようローズマインド」です。OBのみなさまのご意見を頂ければと願っています。

さいごに、私の思いばかりが先行してしまう中で、多くのご助言を頂き実現できたイベントです。また、不備な点も多い中みなさまに導いていただきました。OB会の活動は、2月のカープジエイが初参加でした。隊員の皆様の活動に感謝し、今があります。あらためてJOCV隊員の心地よさに、「だからまた参加したくなるんだなあ〜」と思わされています。このご縁に感謝し、ご協力ご支援を賜りました皆さまに心より御礼申し上げます。

(6-3 コートジボワール 助産師 吉田雅美)

## 編集後記

06

会報誌担当3年目の61年度2次隊吉池俊二です。今年の会報も新隊員からはアンケートを、派遣中の隊員からは現地レポートを、そしてOBからは各行事の報告をいただき、会長の竹内さんと広報担当の山本さんには編集をご協力いただき、何とか発行出来ました。ご協力くださった皆様ありがとうございました。私としては、もっと昭和の隊次の方々に参加していただきたいと思っております。皆さん、ぜひ広島県OB会にご協力よろしく願いいたします。

## 家族連絡会・総会のお知らせ

07

2020年2月16日(日)に家族連絡会・総会を開催します。お久しぶりの方も、初めての方もご参加ください。場所は、広島市留学生会館2階ホールです。家族連絡会は12時集合~15時閉会、総会は15時過ぎ、家族連絡会が終わり次第開始となります。総会の議決権について、会費(2,000円/年)を払った人のみ議決権を持てるという事になっています。この会報が郵送で届いている広島県のOBの皆さまは、名簿に載っている300名の中に入っていますので、総会やイベントに積極的にご参加ください。会費を払ってなくても総会・イベントには出来ますが、是非会費を払って参加して頂ければと思います。また、こんなイベントをしたいという提案も大歓迎です。

## 広島県 JICA デスクからお知らせ

08

国際協力に関心を持つ皆様、あるいは、誰かのために何かしたいと考える皆様が、それぞれの立場でそれぞれの関わり方が出来るよう、情報を発信し、一緒に考えていきたいと思っています。

最新情報は右のQRコードから(JICA 広島デスク FACEBOOK ページ)。

広島県 JICA デスク 推進員 橋本 082-242-8879



## 青年海外協力隊 広島県 OB 会 連絡先

09

会長：竹内英祐(20-4 ウガンダ 土木) / 事務局長：上野寛治(21-2 ドミニカ国 音楽) / 会報誌担当：吉池俊二(61-2 リベリア 自動車整備)  
メールアドレス：info@jocv-hiroshima.sakura.ne.jp (イベントやお問い合わせはこちらへ)

/ 広島県出身者の任国滞在中の隊員数：28名(11月1日時点)